

福岡市バドミントン協会

【設立年月日】1970（昭45）年4月

【加盟年月日】1962（昭37）年4月

【歴代会長】

初代 四島 司 1970（昭45）年～1984（昭59）年
 2代 辰市祐昭 1985（昭60）年～2001（平13）年
 3代 下村 武 2001（平13）年～2007（平19）年
 4代 佐々木徹 2007（平19）年～現在

【歴代副会長】

初代 真崎寿昭 2005（平17）年～2009（平21）年
 2代 秋山晴一 2007（平19）年～現在
 3代 佐竹養一 2009（平21）年～現在
 4代 古川英昭 2009（平21）年～現在

【歴代理事長】

初代 後藤 研 1970（昭45）年～1973（昭48）年
 2代 増田靖文 1973（昭48）年～1975（昭50）年
 3代 木下一郎 1975（昭50）年～1977（昭52）年
 4代 伊藤篤治 1977（昭52）年～1979（昭54）年
 5代 増田靖文 1979（昭54）年～1981（昭56）年
 6代 市川之善 1981（昭56）年～1983（昭58）年
 7代 副島 力 1983（昭58）年～1987（昭62）年
 8代 市川之善 1987（昭62）年～1997（平9）年
 9代 緒方蓉子 1997（平9）年～現在



【沿革】

福岡市バドミントン協会の母体である福岡県バドミントン協会福岡支部は、1949年（昭24）4月に小倉支部・久留米支部とともに福岡県バドミントン協会の支部として設立された。

バドミントン競技は戦後新興のスポーツであるた

め、いまだ一般市民の認識も低く、バドミントン活動の主体はごく一部の実業団や大学に限られていた。

このような社会環境であったが、協会関係者はバドミントンの普及発展のために尽力し、1957年（昭32）には市民大会、社会人大会及び実業団大会を開催するまでに至っている。

1960年（昭35）4月1日に、福岡県バドミントン協会福岡支部規約が制定され、支部を福岡地区バドミントン協会と称することになり、この1年後には福岡地区総合バドミントン選手権大会の開催、またその翌年の1962年（昭37）4月に福岡市体育協会に福岡地区バドミントン協会として加盟している。そして1970年（昭45）4月1日、福岡地区バドミントン協会の下部組織として福岡市バドミントン協会は規約の制定とともに、発足したのである。

初代会長が四島司、初代理事長が後藤研でスタートした福岡市バドミントン協会であったが、その福岡市バドミントン協会が関わった最初の大事業が日中バドミントン大会福岡大会であった。1973年（昭48）9月に福岡市民体育館で行われたのであるが、日中国交の正常化が行われて間もない時でもあり、県警とも連絡を取り警備その他において多いに神経を使ったという。

1955（昭30）～1965（昭40）年代に小学校の体育館を利用してのバドミントン教室が行われたり、また加えて公共の体育館が出来始めたのが福岡市が政令指定都市になった1972年（昭47）頃からで、福岡市民体育館1972年（昭47）、ももちパレス1973年（昭48）をはじめ福岡市下各5区に随時体育館が建設されていき、一気に競技人口が膨れ上がり、それまで大学、官公庁、実業団主導型であったバドミントンがそのような公共の体育館や公民館サークルとして小学校の体育館を利用する一般社会人や家庭婦人の多数参加型バドミントンに移行していく事になったのである。

福岡市バドミントン協会に1975年（昭50）に協会事業の運営の円滑化を図ることを目的に5専門委員会を設けこのような環境の変化とバドミントン

がとりわけはじめての人にも馴染みやすいスポーツであることもあって、バドミントン人口が年々増加していった。

とびうめ国体前後からこれまで福岡市において大規模大会が開催されている。1987年（昭62）の第9回日本リーグ福岡大会、1991年（平3）の第13回日本リーグ福岡大会、1994年（平6）の第44回全日本実業団バドミントン選手権大会、1995年（平7年）の第41回全九州社会人バドミントン選手権大会、1997年（平9）の第14回全日本シニアバドミントン選手権大会、1999年（平11）の第33回全国ろうあ者バドミントン大会、2008年（平20）第8回全日本中学生大会である。いずれも福岡市バドミントン協会主催事業ではないが、しかしながら開催地が福岡市ということで福岡市バドミントン協会が主体的に要の役割を果たしてきた。

また福岡市バドミントン協会主催事業として、国際交流においても釜山広域市金井区バドミントン連合会との交歓会も2010年（平22）5月で第8回を迎える事が出来、財団法人福岡市体育協会事業の日韓高校生スポーツ交流バドミントン競技も釜山へ2010年（平22）8月に役員4名、選手団12名を派遣している。



昨年2010年（平22）11月に福岡県で行われた第27回全国シニア大会の30歳代の部男女の試合を福岡市バドミントン協会が主管し、参加者延べ700名近い選手の運営を円滑に終わる事が出来た。

【現在の活動】

1997年（平9）、初の女性理事長として緒方蓉子が就任。協会を構成する総務委員会・競技審判委員会・指導委員会の3専門委員会にて運営されています。

2007年（平19）に第4代佐々木徹会長が就任し、現在に至っている。尚、当協会の規模拡大に伴って佐々木会長を補佐する為、2009年（平21）より副会長を3人体制にすると共に、理事長を補佐する為副理事長の役職を新たに設けた。

福岡市バドミントン協会理事長緒方蓉子が協会の現状と展望を次のように語る。

「福岡市バドミントン協会は福岡市のバドミントンを振興し、その健全な普及・発展並びに会員相互の親睦を図ることを目的として活動を行っています。福岡市バドミントン協会は辰市祐昭名誉会長をはじめ諸先輩方の普及・振興による多大な貢献により、昨年2010年（平22）10月に盛大に創立40周年を迎え、ジュニア層からシニア層迄の会員の皆様からコメントを頂いた40周年記念誌も発行しています。福岡市バドミントン協会は職域、地域、クラブ、大学、高校、中学校、ジュニアなどの2010年（平22）3月現在139団体が加盟し、2700余名が個人登録し、当協会役員、理事、各専門委員会の活動で各種大会、指導者、審判員の育成、各種教室で組織もかなり充実してきました。2010年（平22）から新日本製薬株式会社さんから当協会にサポートのご依頼が有り、ジュニア強化費・審判員育成費等に有効活用させて頂き、より一層レベルを高めて、今後は福岡市内に留まらずに国際的視野を持って、当協会の更なる発展に力を尽くす所存です。今後とも皆様のご支援と、ご助力の程宜しくお願い致します。」

